

2013 年 1 月 13 日 「まず神様を第一に愛せよ」 石川祐司教会長

今日は、パワーポイントによる「天福函の意義と価値（基元節に臨むに際して）」の講義と、説教でした。以下に、訓読したみ言を掲載いたします。

<訓読のみ言>

『み言に学ぶ統一原理 【前編】』

創造原理について (二) 被造物の成長期間

人間に責任分担という基準を立ててあげたのは、愛の理想を完成するためであり、神様が創造過程で人間に五パーセントの責任分担を必要としたのは、その対象圏が必要だからです。愛は一人ではできません。いくら全知全能の神様でも、対象がなければ愛が顕現できないのです。(130-21、1983・12・11)

直接主管圏は、アダムとエバが愛を中心として同参できることです。ですから間接主管圏は、責任分担未完成圏です。責任分担完成と同時にアダムとエバが愛を中心として夫婦になり、神様は内的父になり、アダムとエバは外的父母となって内外に一つとなる時に、初めて直接主管圏が設定されるのです。ですからこの過程では、結婚が絶対に必要だということです。独身では越えていけません。(139-262、1986・1・31)

天国はどこから始まるのでしょうか。サタンを分立しただけのところで始まるものではありません。責任分担完成圏から始まるのです。それは直接主管圏と間接主管圏が責任分担を完成したアダムとエバを通じて初めて連結され、天の愛が地上の愛に連結されるのです。これが原理です。それができていないので、サタンはこれを防げるのです。天の愛の道を妨害するのがサタンです。

(148-204、1986・10・9)

間接主管圏と直接主管圏を連結させるために責任分担を完成しなければなりません。責任分担完成というものは男性が成熟し、女性が成熟しなければならないのです。男性と女性が完成したとはどういうことですか。エデンの園での完成は、神様しか知らないのです。神様を第一に愛さなければなりません。その次に、男性は女性を第二に思い、女性は男性を第二に思う、そういう人にならなければなりません。このようになるとき、責任分担を完成して間接主管圏から直接主管圏に行ける新しい次元に越えていくのです。(195-105、1987・5・20)

神様の愛を中心として、神様の完全な愛が顕現するとき、サタンは現れることができます。それが責任分担完成です。責任分担を完成したならば、間接主管圏と直接主管圏において愛の因縁が結ばれるのです。そこで縦的愛と横的愛が連結されるのです。そうなれば、その縦横の愛を通じて神様の血統的な因縁が、血縁ができるのです。血統が生じます。神様の愛を中心として一つになり、縦横の愛と因縁を結んで生まれた血統は、サタンが干渉できないのです。サタンと因縁がありません。ですから心情を受け継ぐためには、純粋な神様の愛

を中心とした本然の伝統的血統を受け継がなければならないということです。(173-285、
1988・2・21)